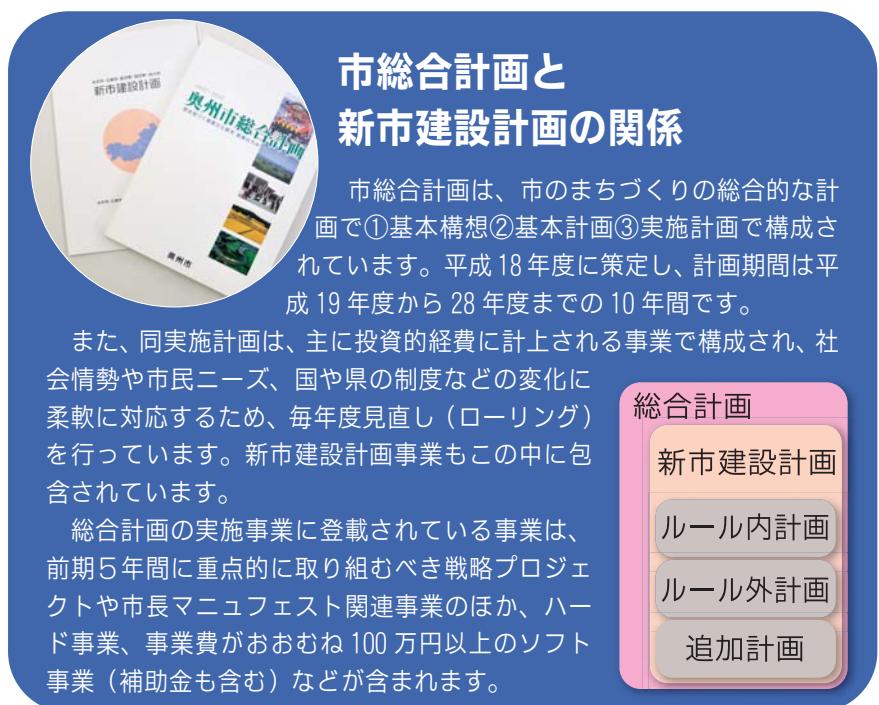
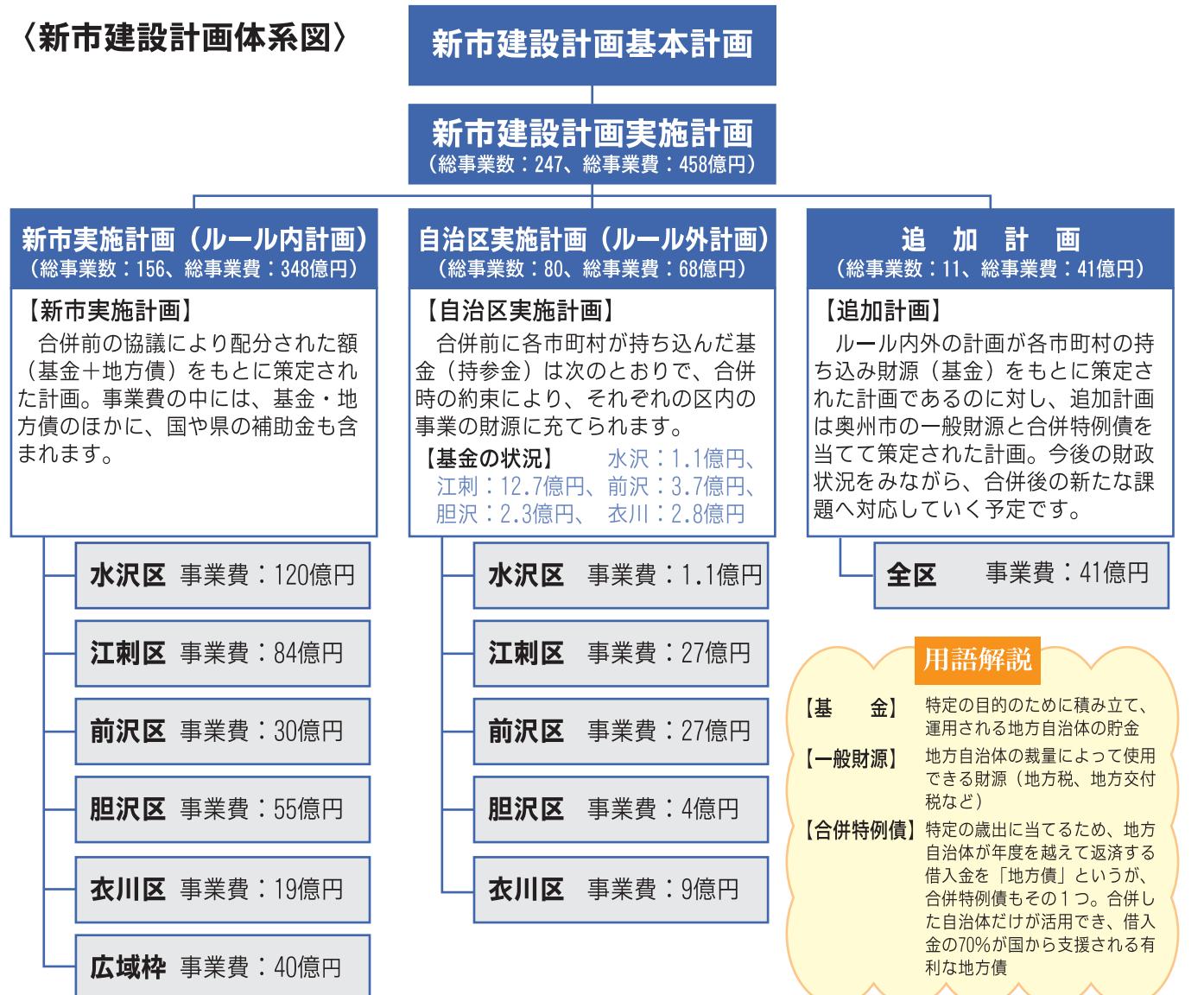


〈新市建設計画体系図〉



**新市建設計画実施計画
(20年度見直し後)**

項目	総事業数	総事業費 (単位: 万円)
ルール内計画	156	348 億 7,072
ルール外計画	80	68 億 2,626
追加計画	11	40 億 9,767
合計	247	457 億 9,466

(うち合併特例債発行額) 239 億 5,300

*事業費は端数処理をしています

**合併協議で定めた
奥州市まちづくりの根幹計画**

新市建設計画実施計画は、本市誕生から10年間(平成18年度~27年度)の実施事業を集約した計画です。これは、合併前の平成17年3月に5市町村合併協議会が策定した、まちづくりの将来像や基本施策など、新市建設のビジョンを示した新市建設計画基本計画に基づくものです。

この実施計画は、5市町村に割り振られた事業費枠に基づき、それぞれの市町村が持ち寄った要望事業を盛り込んだ形でまとめられました。

合併協議会では、合併後の計画見直しを図ることを申し合わせていました。

**事業数・事業費とも
合併時より大幅に増加**

市は、これまで合併協議での申し合わせに従つて、現行計画の見直しを年度ごとに実施してきました。また、新市建設計画は、18年度に策定した奥州市総合計画の一部に位置づけられ、実施計画も市総合計画に包含される形となっています。

**計画の見直し時には
各地域協議会に諮問**

これまでの見直しでは、ルール内計画(※9ページ体系図参照)の変更にとどまらず、旧5市町村の基金(持参金)を活用したルール外計画(※9ページ体系図参照)、全市的・政策的に合併特例債事業を取り込んだ追加計画(※9ページ体系図参照)など、市総合計画の達成を目指す。合併特例債の発行予定額も240億円(同174億円)となり、発行可能額に対する割合は44.1%(同32.7%)と伸びています。

問い合わせ
本庁政策企画課企画推進係(内線415)
※新市建設計画実施計画は、各総合支所総務企画担当課で閲覧できるほか、市のホームページでも公表しています

奥州市 新市建設 計

奥州市のまちづくりの基本方針であり、各地域自治区の均衡ある発展を目的に策定された新市建設計画。合併調印時に策定された計画ですが、合併協議の申し合わせで、毎年度見直しを行うこととなっています。ここでは、21年2月に行つた見直し後の主要な予定事と、これまでの実施状況をお知らせします。

実施状況を お知らせします



新市建設計画の追加計画で整備された奥州宇宙遊学館